

令和7年7月23日No.65 京都府南丹教育局発行

「京都丹波 まな Viva!」は、学校と先生を応援する南丹教育局の学びのニュースです。

「なんたん学びモデル推進校」

「京都丹波の教育推進プラン」に基づき、質の高い授業づくりに向けた授業改善の推進に 取り組むことを目的に、令和7年度は管内1こども園と4小学校、3中学校を「なんたん学 びモデル推進校」として指定しています。

各推進校では、自校の現状を分析した上で、「学力向上」に係る課題解決に向けた研究テーマを掲げ、児童生徒の確かな学び、教員の指導力向上に取り組んでいます。

【2年次推進校の研究テーマ紹介】 ①研究主題 ②研究内容 ③期待する効果

- ①生き生きと表現し、主体的に学習する子どもの育成 ~みんなで学ぶっておもしろい!~
- ②主体的に学ぶ子どもの育成を目指した授業改善
- ③魅力的な単元をデザインすることで、主体的に学ぶ児童を育成 授業の中に伝え合いの場を設定することで、生き生きと表現する児童を育成

南丹市立園部小学校

- ①つながりを大切にし、主体的に学ぶ子どもの育成 ~適用題からふりかえる授業改善を通して~
- ②校内研修の充実、授業力の向上、基礎学力向上、非認知能力の向上、ICTの効果的活用
- ③自己肯定感の高まりにより、積極的に学びに取り組んだり、あきらめずに取り組もうとしたりする姿学習意欲を高め、学力の向上を図る。

南丹市立美山中学校

- ①自ら学ぶ姿勢を引き出す指導とその効果
- ②授業改善と家庭学習の両立と校内の取組の効果を検証する。
- ③学びに対する自身の姿勢について考え、主体的な学びを身につける。 教師の指導力の向上、単元デザインの工夫ができる。 家庭学習の充実、自ら課題設定ができる自主学習を目指す。 学校全体で成長できる状況を作り出す。

京丹波町立瑞穂中学校

- ①主体的な家庭学習につながる授業づくり
- ②主体的な家庭学習につながる授業展開の工夫、「単元構想」を軸としたメリハリのある授業作り
- ③授業改善により、主体的な家庭学習につなげて学力と学びの質を向上させる。

明確な「単元構想」のもと、教師と生徒がともに目標を共有することで、学力と学びの質を向上

【1年次推進校の研究テーマ紹介】

①研究主題 ②研究内容 ③期待する効果

亀岡市立詳徳小学校

- ①言語活動を個の学びにつなぐ授業づくり 自己肯定感を学びの意欲へ / 安心して学び合う集団づくり
- ②授業改善、学習の基盤づくり、集団づくり
- ③児童アンケート・・・主体的な学習意欲・自己肯定感の項目の向上 市学カテストIRT指標の経年比較における維持・向上 各学カテストにおける記述問題への無回答率を低減

亀岡市立大成中学校

- ①「ファシリテーション」を活用した対話型授業の実践推進
- ②「ファシリテーション」の授業実践を各教科で進める。
- ③「話し合い活動」を進める基盤として「人の話を最後まで否定せず聞く」姿勢を生徒に定着させ、 学級の心理的安全性を確保する。

「話し合い活動」など対話型授業を実施する頻度を上げる。

学活・総合的な学習において、探究的な学びの時間を増やす。

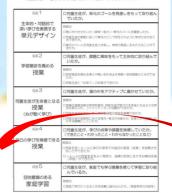
南丹市立胡麻郷小学校

- ①自分の考えをもって語り合い、主体的に学ぶ児童の育成
- ②算数科の授業研究、授業研究会(事前研究会・事後研究会)の充実
- ③ | 時間の中で児童が学びを実感できる。
 - 他者との話し合いで自分の考えを進んで表現する。

京丹波町立わちこども園

- ①"とことん遊ぶ"子どもの姿を探る ~先生も遊ぶ 一緒に遊ぶ 子どもとつながる~
- ②先生も遊ぶことを常に心に留め、園児の内面を探り、環境構成や援助を考える。そのために、保育教諭 同士で話したり語り合ったり、互いの考えや思いを認め合ったりしながら、遊びの捉え方や保育について 考えを深め合う。
- ③ 園児が興味・関心をもっていることを捉えて内面を探る。 自分の保育を振り返り、教諭同士で話したり語り合ったりして、保育の質を互いに高め合う。





QR コードを読み 取っていただくと、 京都丹波の教育 推進プランの説 明動画やチェック ポイントシートが 確認できます。



「なんたん学びモデル推進校 授業研究発表会」を開催

※詳細につきましては、後日案内いたします。市町を越えて多くの授業を見て学ぶ機会にしてください。

【2年次校発表】 9月26日(金) 南丹市立園部小学校

10月15日(水) 京丹波町立瑞穂中学校

10月28日(火) 南丹市立美山中学校

|月2|日(水) 亀岡市立大井小学校

【1年次校発表】 随時紹介いたします。

